

2024年10月3日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

科学技術振興機構（証券コード：－）

【維持】

発行体格付：AA+ [安定的]

債券格付：AA+

【格付理由】

科学技術振興機構（JST）は科学技術政策の実施機関として中核的な役割を担う。国費を原資に大学、企業、研究機関に資金を提供して研究開発を強力に後押しし、日本の科学技術の発展に貢献している。JSTが支援した研究成果の一部はノーベル賞の受賞や社会的課題を解決する技術革新に結びつくなど、顕著な実績をあげている。

国の財政支援を後ろ盾に、2021年度から10兆円規模の大学ファンドの運用業務を開始した。世界最高水準の研究大学の実現に向けて運用益をもとに集中的に助成を実施し、技術革新の創出と科学技術立国の実現を目指す。JSTの科学技術政策上の極めて高い重要性を反映し、格付は日本ソブリンと同格としている。

持続的成長、国と国民の安全確保、世界的課題への対応と貢献、イノベーション創出には、科学技術の振興が欠かせない。政府は科学技術政策を成長戦略の重要な柱に位置付け、「科学技術・イノベーション基本計画」において「世界で最もイノベーションに適した国」にすることを掲げる。

JSTは国が定めた目標に沿って、基礎研究、基盤的研究、新技術の企業化支援、国際共同研究の推進など様々な事業を手掛ける。自らは研究所を持たないものの、研究開発に関する知見とコーディネート力に強みを持ち、ネットワーク型研究所として成果の最大化に努めている。

大学ファンドの運用業務では、経験豊富な担当者を理事に招き、運用・監視委員会を設置して、運用・リスク管理体制を強化した。資産運用はリスクを伴い、期待するリターンが得られず損失を被ることがある。このため財務省、文部科学省は安定的な運用体制の確立、損失発生時の対策といった制度設計を行うなど、政府の監督・支援方針を明確にしている。

文部科学省は第1回公募結果を公表し、東北大学を認定候補に選定した。同大学は2024年度内に正式認定され、助成金の交付を受ける見通しだ。JSTは予定通り、大学ファンドを通じて世界レベルの研究基盤の構築に寄与することになる。

10兆円規模の資産を初めて通期で運用した2023年度は、大学ファンド関連（助成業務）で1167億円の当期総利益を計上した。金融市場の荒波の中、比較的順調な実績を残した。助成業務での円滑な給付継続には、安定した運用が極めて重要になる。今後の動向を慎重に見守る。

【格付対象】

発行者：科学技術振興機構

【維持】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA+	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第1回科学技術振興機構債券	200億円	2023年2月20日	2025年2月21日	AA+
第2回科学技術振興機構債券	200億円	2024年2月20日	2026年2月20日	AA+

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	科学技術振興機構
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2024年10月3日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022/12/26]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。